仕　　様　　書

1　契約名

かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館収蔵資料公開データベース整備業務委託

2　業務の目的

現行の収蔵資料管理検索システム「I.B.MUSEUM」（以下「現行システム」という。）と同等の機能を有す、かつ一般利用者向け収蔵資料検索ページを提供する機能を有するクラウド型収蔵資料管理検索システムを提供し、現行システムに格納されているデータをクラウド型収蔵資料管理検索システムに移行するものである。

3　履行場所

かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館（鹿児島市城山町５番１号）

4　履行期間

契約締結の日から令和８年３月３１日（火）まで

5　業務内容

(1) 現行システムからクラウド型収蔵資料管理検索システムへのデータ移行

① 登録するデータの内容

移行対象データは現在かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館（以下「館」という。）にて使用中の現行システムに格納された資料、図書情報で、内容は別紙１のとおり。

② システムへの初期設定

新たに導入するクラウド型収蔵資料管理検索システムにおいて、現行システムのデータを移行し、支障なく運用できるように、入力項目等を設定する。

システム更改にあたり、今後の運用や情報公開を展望してデータ項目を見直す場合がある。その際は受託者にてデジタルアーカイブに関する幅広い専門的知見を有する担当者がアドバイスを行う。

③ データの移行

別紙１のデータを現行システムから抽出し、令和７年９月３０日（火）までに新たに導入するクラウド型収蔵資料管理検索システムにすべて移行する。

(2) クラウド型収蔵資料管理検索システムの提供

① システムの概要

館の収蔵資料情報を管理するデータベースであり、館職員によりデータ容量に制限なく収蔵資料情報を登録でき、展示や貸出、各種帳票出力など学芸業務のＤＸに資する

機能を備えたシステムとする。また、業務を通じて蓄積した情報のうち、外部に公開可能なものを館職員による簡単な操作でデジタルアーカイブ検索ページに公開する機能を備えるものとする。詳細は⑥機能要件に示す別紙２の通りとする。

また、これらの機能を１０館以上の博物館で稼働しているクラウドサービスにより提供する。

② データの公開

収蔵資料管理システムに格納したデータのうち、外部に公開可能と当館が判断したものを、インターネット上および館内端末において利用者が検索できる方法で公開する。その際、館内端末における検索ページのセットアップは受託者にて行うこと。

公開するデータは収蔵資料管理システムでＯＮ／ＯＦＦを館職員が設定でき、検索する項目、検索結果一覧で表示する項目、および詳細画面で表示する項目を館職員が設定、変更できる。その他の機能詳細は⑥機能要件に示す別紙２のとおりとする。

③ システムの運用

受注者は、システムの運用、メンテナンスを実施し、データのバックアップ、サーバＯＳやアプリケーションのセキュリティパッチの適用、アップデート、サーバ状況の監視、不具合時の対応、ハードウェアの増設等安定的な運用に必要な業務を行う。

④ データセンター

「データファシリティスタンダード（日本データセンター協会策定)」の品質基準であるティア３以上のデータセンターにおいてサービスを運用するとともに、システム面、人的及び物理的な運用管理面において、個人情報保護、システムに対する不正アクセス防止、暗号化通信、ウイルス対策等セキュリティ対策を施すものとする。

⑤ データのバックアップ

保存データは毎日バックアップを行い、障害発生時は速やかに復旧できること。バックアップデータは、サービスを提供するメインのデータセンターから、大規模災害で同時に被災しない程度に距離の離れた別のデータセンターで保管すること。

⑥ 機能要件

収蔵資料管理検索システムと収蔵資料デジタルアーカイブ検索ページに求められる機能要件は別紙２のとおりとする。

⑦ その他

オンラインヘルプを備えるとともに、館職員からのシステム操作に対する質問の受付及び回答を行うこと。併せて、クラウド型収蔵資料管理検索システムの初年度の運用を含むこと。

(3) 業務報告書

業務報告書（処理実績報告書）の記載内容については、発注者及び受注者協議の上決定する。

(4) その他

① 本業務において必要となるハードウェア、ネットワーク、ソフトウェア、その他調達物等は、受注者の負担において準備すること。
② 本業務の履行にあたっては、万全のセキュリティ対策を講じること。
③ 本業務に係る打合せは適宜実施し、実施した場合はその記録を作成すること。

6　権利の帰属

格納したデータに係る所有権及び著作権、その他の権利は、発注者に帰属する。

7　検査

発注者は業務完了後に検査を行う。なお、履行期間中においても、受注者は、必要に応じて発注者の確認等を受けること。検査の際に発注者から指示があった事項については速やかにその指示に従うこととし、その費用は受注者の負担とすること。

8　その他

(1) 受注者は、契約締結後、１０日以内に業務計画書を提出すること。
(2) 受注者は、本業務の実施にあたり、個人情報を取り扱う場合は、個人情報の保護に関する法律等関係法令を遵守すること。
(3) 受注者は、本業務を行う上で知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用することはできない。また、本業務終了後も同様とする。
(4) システムの利用については、令和８年３月３１日（火）までの利用料を本契約に含めることとする。
(5) この仕様書に定めのない事項や、疑義が生じた場合については、別途、発注者及び受注者が協議の上、決定する。

9　連絡先

鹿児島市　市民局　市民文化部　文化振興課　担当：原田
電話　０９９－２１６－１５０１
かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館　担当：吉村
電話　０９９－２２６－７７７１

別紙 1

移行対象データ

分類	点数	備考
特別資料情報	約４７，０００点 （※４６，６０２点）	テキストデータ
図書情報	約３２，０００点 （※３１，３２１点）	テキストデータ
雑誌情報	約３５，０００点 （※３４，４２９点）	テキストデータ
画像	約１４，０００点 （※１４，１１０点）	画像データ

（※）は、本仕様書作成時点の点数。移行時には点数の増加がある。

別紙２

収蔵資料管理検索システムと収蔵資料デジタルアーカイブ検索ページ機能要件

種別	分類	機能要件
システム全般	システム全般	・　標準的な Web ブラウザ（Microsoft Edge、Chrome、Safari）で利用できるシステムとすること。各ブラウザの最新バージョンに随時対応していくこと。
		・　データの登録件数、画像登録数、総容量に制限がないこと。また、総容量が増えても料金は変動しないこと。 ・　システムの運用、メンテナンスは受託者が実施すること。データのバックアップ、サーバ OS やアプリケーションのセキュリティパッチ適用／アップデート、サーバ状況の監視、不具合時の対応、ハードウェアの増設等安定的な運用に必要な業務を行うこと。これらに係る費用が別途必要な場合、運用費に含めること。
システム管理	ユーザ管理	・　職員ごとにアクセス権限を設定、変更できること。アクセス権限は、閲覧のみ、制限なしが資料のカテゴリーごとに設定できるものとする。利用者は ID・パスワードでログインできること。 ・　一定期間ごとにパスワード変更を強制する、パスワードの英字、数字混在のみ使用可能とするといった、利用館ごとのパスワードポリシーを設定出来ること。 ・　システム管理者は、利用者ごとにアクセス権限を設定、変更できること。 ・　アクセス権限の設定は資料分類ごと、サブシステムごとに、利用不可、閲覧のみ、削除不可、制限なしが設定できること。 ・　パスワードを一定期間変更していない場合、変更を促すメッセージを表示すること。
	分類項目設定	・　職員が資料カテゴリーを追加、変更、削除できること。 ・　入力項目は利用者側で自由に追加、変更、削除できること。 ・　入力項目のサイズは、利用者側で変更できること。 ・　入力時のルールや注意事項をシステム管理者が項目ごとに設定できること。設定した内容は、入力画面で該当項目にカーソルが移ったときに表示されること。
	データ一括処理	・　複数の資料を一度に登録、更新できるデータ一括処理機能を備えること。Microsoft Excel 形式、CSV 形式、TSV 形式に対応すること。Excel の最新バージョンには随時対応すること。
	データ一括出力	・　データ出力機能では、すべての項目または任意の項目の選択により検索結果を考慮した出力が行えること。検索条件がない場合は、基本登録されている全件数を対象とした出力とすること。出力する項目は 30 項目以上指定・選択できること。出力形式は Microsoft Excel 形式、CSV 形式、TSV 形式が選択できること。
資料管理システ	検索機能	・　検索機能は，任意のキーワードに対してすべての資料項目を横断して検索できる「キーワード検索」と任意の資料項目に対して検索できる「項目指

テム		定検索」をそなえること。 ・ 項目検索は、検索文字列に対して「含む」「含まない」「完全一致」「前方一致」「後方一致」「以上」「以下」から選択できること。 ・ 検索結果の一覧表では、表示する項目を利用者が自由に設定できること。 ・ 検索結果の一覧表では、項目名をクリックすることで、昇順／降順の並べ替えができること。 ・ 検索結果の一覧表では、１画面に表示する件数の切り替えができること。 ・ 検索した条件に名前を付けて保存、呼び出しができること。 ・ 検索結果の一覧表から任意のデータを選択して、絞り込みや除外ができること。 ・ 検索結果の一覧をリストとして名前を付けて保存し、そのリストを呼び出すことができること。
	登録機能	・ データの新規登録画面から、新たなデータを登録できること。 ・ データの詳細画面に表示されたデータを上書きし、データを更新できること。 ・ データの詳細画面から、当該データを削除できること。 ・ データの一覧画面から任意のデータを選択し、データを一括して削除できること。 ・ 文字情報の登録においては、手入力だけではなく、選択肢で入力できること。選択肢を変更、追加、削除することができること。 ・ 多数の項目をデータのセットとして辞書的に登録し、そのセットをまとめて登録できること。 ・ 資料の作者や寄贈者等については、人名表記の揺れなどを防止するため、人物情報サブシステムに登録したデータから呼び出して入力できること。 ・ 資料に対して画像を登録できること。画像データは１ファイルあたり25MB 程度を上限として点数の制限なく登録でき、システムでの運用を想定し、登録時に自動的にリサイズすること。 ・ 資料に対して、３D オブジェクトデータを登録できること。登録後、同じ画面上で３D 画像を自由な角度で回転させられること。さらに専用ビューアをポップアップさせて大きな画面で閲覧、回転させられること。 ・ 資料に対して、10,000pixel×10,000pixel の大容量画像を登録できること。 ・ 資料に対して、PDF ファイルを登録できること。 ・ 資料に対して、YouTube の動画リンクを登録できること。
	出力機能	・ データ出力機能では、すべての項目または任意の項目の選択により、検索結果リストの出力が行えること。 ・ 出力形式として、Microsoft Excel 形式、CSV 形式、TSV 形式が選択できること。 ・ 検索結果一覧から、画像をダウンロードしたいデータを選び、画像データを一括してダウンロードできること。 ・ 資料・作品カードやラベル、対外文書など、利用館独自の書式をシステム上で自由に作成でき、作成した書式をシステムに登録、その書式を指定して利用館独自の帳票を出力できること。
	資料管	・ データベースは、カテゴリー毎にそれぞれ別個の分類に分けて運用できる

	理	こと。 ・ 分類は必要に応じてシステム管理者が追加できること。 ・ 資料に付随する，画像ファイル及び画像情報、貸出履歴、修復履歴、来歴、移動歴、参考文献が複数登録できること。 ・ 検索結果の一覧は、文字情報／画像情報／文字画像情報の 3 パターンで切り替えができること。 ・ 資料画像は部分拡大表示およびスライダーバーによる拡大率の変更ができること。 ・ 資料画像は複数登録ができること。登録した画像ごとにインターネット公開可否が設定できること。
	名簿・人物管理	・ 寄贈者などの人物に係る情報を人物データとして登録でき、資料管理や貸出・展示管理などでデータを呼び出して利用できること。 ・ 人物管理では、その人物に登録されている資料情報一覧が表示できること。
	貸出・展示管理	・ 資料の利用（展示・貸出など)、閉架・開架、現在の状態（予約中／貸出中／返却済）を管理できること。 ・ 資料利用に関する概要を登録、保存後に、その利用の対象となる資料を登録できること。 ・ 同じ資料に対して予約、貸出期間の重複が発生しないよう制御機能を有すること。 ・ 資料が入庫・返却された際、資料利用（展示・貸出）の場合は、それぞれの資料の出品歴（貸出展示履歴情報)、修復の場合は修復歴が自動的に作成されること。 ・ 資料の移動（入庫・返却）があった場合、該当資料の移動歴が自動的に作成されること。 ・ 利用状況を「仮予約」「予約」「出庫」「入庫」のステイタスに分けて登録することができること。
資料公開	資料データベース公開	・ 一般公開可能な資料情報については、インターネット上での公開を行えること。 ・ インターネット公開画面は、検索トップ＞検索結果一覧＞検索結果詳細の 3 段階の画面を基本とすること。 ・ 検索トップだけでなく、検索結果一覧、検索結果詳細のいずれにも固有の URL が割り振られること。 ・ インターネット公開画面の検索トップで使う検索項目、検索結果一覧で表示する項目、検索結果の詳細で表示する項目を、編集画面で自由に設定できること。 ・ グローバル IP アドレスを指定することによって、限定的にインターネット公開が行えること。 ・ インターネット公開ページに ID、パスワードを設定することによって、限定的にインターネット公開が行えること。 ・ インターネット公開の資料詳細画面では、画像が表示されること。また、画像がない場合はそのエリア自体を表示しないか、「No Image」の画像を表示するかを選択できること。

		・　インターネット公開の資料詳細画面では、資料1点につき登録された複数の複数の画像を公開できること。複数の画像を公開する際は、画像送りボタンで表示する形式と、登録画像のサムネイルを並べて表示する形式を選択できること。 ・　資料に対する3Dオブジェクトデータを公開できること。 ・　資料に対する YouTube の動画リンクを公開できること。その際、画像エリアに YouTube 動画のサムネイルと再生ボタンが表示されること。
	ジャパンサーチ連携	・　国が運営する文化資源デジタルアーカイブのプラットフォームであるジャパンサーチ（https://jpsearch.go.jp/）に対して、設定によりデータを自動的に公開できること。
	ガイドアプリ公開	・　一般公開可能な資料については、スマートフォンのガイドアプリでの公開を行えること。 ・　ガイドアプリでは館のプロフィールを画像とともに公開でき、画像や文章を編集できること。また、プロフィール画面では館のホームページへのリンクが表示できること。 ・　ガイドアプリでは展示資料の番号をテンキーで入力することで当該資料の解説画面に遷移し、解説画面では文字、画像、音声、動画（YouTube リンク）を表示できること。 ・　ガイドアプリは多言語対応していること。